



「治験とは」

化学合成や植物などから発見された物質の中から、試験管の中での実験や動物実験により、病気に効果があり、人に使用しても安全と予測されるものが「くすりの候補」として選ばれます。このくすりの候補の開発の最終段階では、健康な人や患者さんの協力によって、人での効果と安全性を詳しく調べることが必要です。

くすりの候補を用いて国の承認を得るための臨床試験は、「治験」と呼ばれています。こうして得られた成績を国が審査して、病気の治療に必要で、かつ安全に使っていけると承認されたものが「くすり」となります。

現在使用されているくすりも多くの患者さんに協力していただき、治験という過程を経て国に承認されています。今日でも治療薬がない病気のくすりや、より効果が高く安全なくすりの開発求められており、多くの研究と患者さんの協力が必要です。

このような治験の意義をご理解いただき、治験への参加をお願いいたします。

